

## 負債の状況

### (1) 二人以上の世帯の負債現在高は506万円

二人以上の世帯の1世帯当たり負債現在高は506万円で、前年に比べ1.0%の増加となった。このうち勤労者世帯についてみると、負債現在高は624万円となっており、前年に比べ1.3%の増加となった。

負債年収比（負債現在高の年間収入に対する比）をみると、二人以上の世帯では78.4%と前年に比べ0.7ポイント上昇し、勤労者世帯では87.5%と前年に比べ1.8ポイント上昇した（表4）。

負債現在高の約9割を占める住宅・土地のための負債について内訳をみると、二人以上の世帯及び勤労者世帯ともに、前年に比べ民間が現在高及び構成比ともに増加する一方で、公的が減少した（図3、表5）。

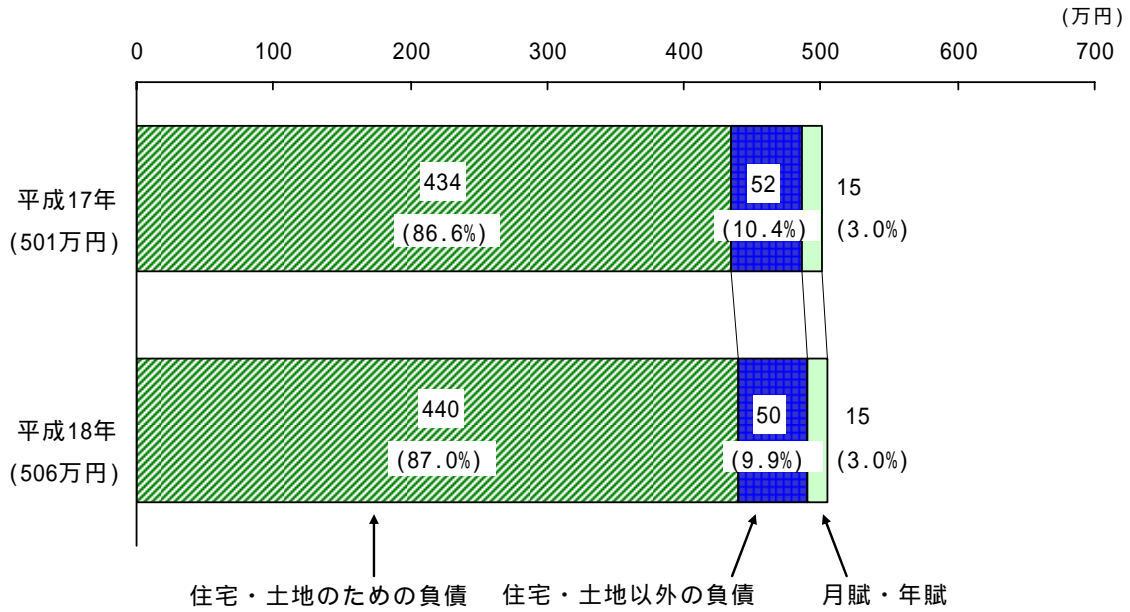
表4 負債現在高の推移

年次	負債現在高				負債現在高に占める住宅・土地のための負債の割合 (2)/(1) (%)	年間収入 (3) (万円)	負債年収比	
	(1) (万円)	対前年増減率 (%)	住宅・土地のための負債 (2) (万円)	対前年増減率 (%)			(1)/(3) (%)	住宅・土地のための負債 (2)/(3) (%)
二人以上の世帯								
平成14年	537	-	471	-	87.7	683	78.6	69.0
15	508	-5.4	439	-6.8	86.4	660	77.0	66.5
16	524	3.1	463	5.5	88.4	650	80.6	71.2
17	501	-4.4	434	-6.3	86.6	645	77.7	67.3
18	506	1.0	440	1.4	87.0	645	78.4	68.2
うち勤労者世帯								
平成14年	607	-	562	-	92.6	748	81.1	75.1
15	605	-0.3	554	-1.4	91.6	721	83.9	76.8
16	655	8.3	605	9.2	92.4	730	89.7	82.9
17	616	-6.0	561	-7.3	91.1	719	85.7	78.0
18	624	1.3	577	2.9	92.5	713	87.5	80.9

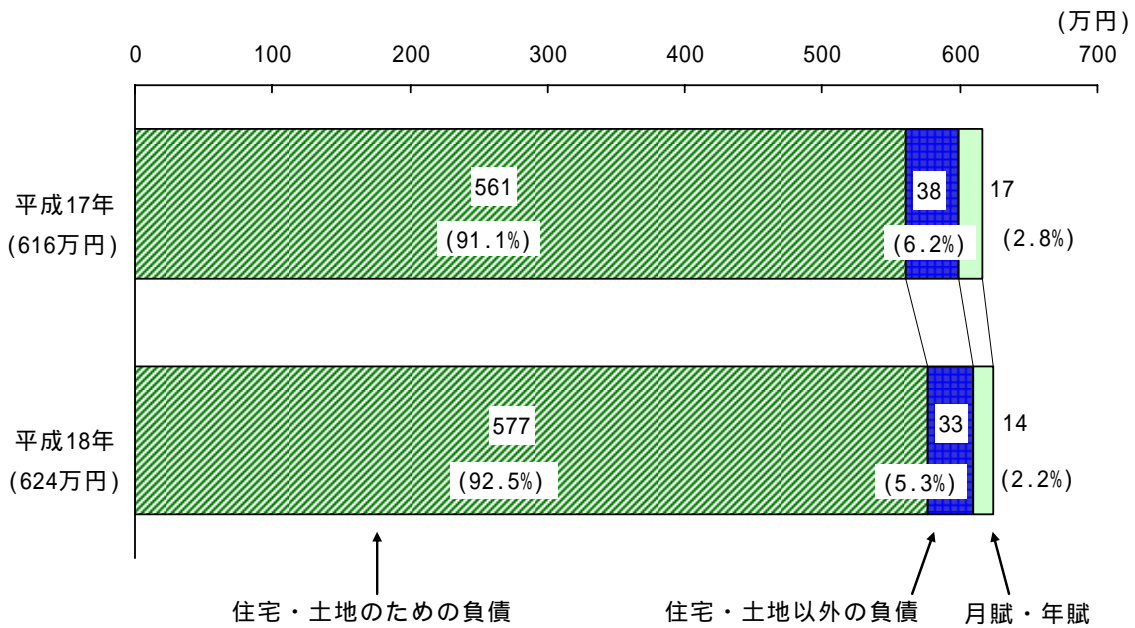
表5 負債の種類別負債現在高の推移 - 平成17年、18年 -

項目	二人以上の世帯						うち勤労者世帯					
	平成17年			平成18年			平成17年			平成18年		
	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年増減率 (%)
負債現在高	501	100.0	-4.4	506	100.0	1.0	616	100.0	-6.0	624	100.0	1.3
住宅・土地のための負債	434	86.6	-6.3	440	87.0	1.4	561	91.1	-7.3	577	92.5	2.9
公的	123	24.6	-22.6	116	22.9	-5.7	163	26.5	-26.2	155	24.8	-4.9
民間	281	56.1	4.5	296	58.5	5.3	352	57.1	7.6	379	60.7	7.7
その他	30	6.0	-14.3	28	5.5	-6.7	46	7.5	-20.7	43	6.9	-6.5
住宅・土地以外の負債	52	10.4	8.3	50	9.9	-3.8	38	6.2	11.8	33	5.3	-13.2
公的	12	2.4	33.3	11	2.2	-8.3	8	1.3	33.3	7	1.1	-12.5
民間	30	6.0	-3.2	30	5.9	0.0	20	3.2	0.0	17	2.7	-15.0
その他	10	2.0	25.0	9	1.8	-10.0	10	1.6	25.0	8	1.3	-20.0
月賦・年賦	15	3.0	15.4	15	3.0	0.0	17	2.8	13.3	14	2.2	-17.6

図3 負債の種類別負債現在高及び構成比 - 平成17年, 18年 -  
(二人以上の世帯)



(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



注) ( )内は, 負債現在高に占める割合

(2) 負債保有世帯の約6割が平均負債現在高を下回る

二人以上の世帯に占める負債保有世帯の割合は41.0%で、前年に比べ0.2ポイント拡大した。このうち勤労者世帯についてみると、負債保有世帯の割合は51.2%で、前年に比べ1.4ポイント拡大した。

また、負債保有世帯における負債現在高についてみると、二人以上の世帯では1233万円と前年に比べ0.5%の増加、一方、勤労者世帯では1219万円と前年に比べ1.5%の減少となった(表6)。

負債保有世帯における負債現在高階級別の世帯分布をみると、負債保有世帯の平均値(1233万円)を下回る世帯が60.4%を占め、負債現在高の低い方に偏ったものとなっている。このうち勤労者世帯についてみると、負債保有世帯の平均値(1219万円)を下回る世帯の割合は57.2%となっており、負債現在高の低い方に偏ったものとなっている(図4)。

表6 負債保有世帯の負債現在高の推移

年次	負債保有世帯の割合 (%)	負債保有世帯の割合の対前年変化幅 (ポイント)	負債現在高 (万円)	住宅・土地のための負債		
				対前年増減率 (%)	対前年増減率 (%)	対前年増減率 (%)
二人以上の世帯						
平成14年	43.4	-	1239	-	1086	-
15	42.9	-0.5	1183	-4.5	1023	-5.8
16	42.8	-0.1	1223	3.4	1080	5.6
17	40.8	-2.0	1227	0.3	1062	-1.7
18	41.0	0.2	1233	0.5	1074	1.1
うち勤労者世帯						
平成14年	52.2	-	1164	-	1077	-
15	51.6	-0.6	1171	0.6	1073	-0.4
16	52.7	1.1	1242	6.1	1148	7.0
17	49.8	-2.9	1238	-0.3	1127	-1.8
18	51.2	1.4	1219	-1.5	1127	0.0

図4 負債現在高階級別世帯分布 - 平成18年 -

